

コロナ禍での集合研修のガイドライン

株式会社 BCL

社会・経済活動を営むと、感染症は完全に押さえ込むことができません。そこで、下記のように現在の業務・職場状況と同様に対策を講じます。目指している基準は「お客様の職場の密集度、通勤・移動（満員電車、自動車の相乗り）より厳しくすることです。ご理解・ご協力をお願いいたします。

- ①開講前に、講師、事務局、受講者を非接触型にて体温測定をいたします。併せて、アルコールによる手指消毒、入室時はマスクの着用をお願いします。弊社でも予備のマスクの用意をしております。
- ②講義中、講師はマイクを使用して講義をします。大声を出すことでの飛散を少しでも減少させます。受講者の方は原則としてマイクなしでお願いしております。これはカラオケ店でのクラスターが発生していることから、マイクの使いまわしを避けるためです。複数のマイクが準備できた場合は、1人ひとりの発言のあとに、アルコール消毒を実施します（リスク＝接触感染＞飛沫感染）。
- ③グループワークやペアワークのメンバーを記録したり、連絡先を交換しておいたりしてください。後日、感染が確認された場合は、研修担当者に感染と濃厚接触者をお知らせください。また、厚生労働省のアプリも併せてご活用ください。
- ④講義中も窓やドアを開放して、換気します。害虫（蜂、蚊）の侵入等が著しい場合はこの限りではありません。
- ⑤体調不良の方、家族や職場で感染が疑われている人がいる場合（いわゆる濃厚接触）は、研修に出席しないでください。
- ⑥研修中、体調不良になった場合は、すぐに講師や事務局にお知らせください。この場合、研修の中止・続行の判断は事務局と相談をします。

⑦講師・事務局の抗体検査も積極的に実施しております（PCR 検査ではありません）。C は control 正常に検査できると線がでます。T に線が入ると陽性です。

まだまだ、わからないこと、対策の不備もあると思います。お気づきの点がございましたら、お知らせください。ご協力をよろしく申し上げます。

